

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/04/02

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	4 ^a (2.7%)	9 ^b (0.7%)	9 ^b (0.7%)	0	0	125 (100%)	25 ^c (14.9%)	0	0	0	0	125 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	147	1,273	1,273	212	212	125	168	105	105	105	105	125	12	8	8	8	8
分離・検出報告数	2,437						3,099						90				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T/M/F耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

^a うち薬剤未投与例 0、薬剤投与例 4

^b うち薬剤未投与例 1、薬剤投与例 8

^c うち薬剤未投与例 3、薬剤投与例 22

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/8664-470p01.html>